

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します。

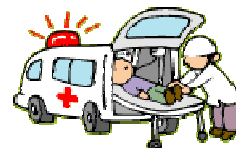
## 「なぜ、他の医療機関へ行くように勧めるのか!？」というご意見について

寒い季節になりましたが、お具合はいかがでしょう。

さて、最近、患者さまから、「まだ完全に治っていないのに、別の医療機関へ行くよう言われた……。このまま西部病院に通っていたいのに……。受診の仕方やトイレの場所も覚えたのに……。対応が冷たいのではないか!？」というご意見をいただくことがあります。

そこで、このことについてご説明いたします。

病院の機能は、「急性期病院（救急病院）」「慢性期病院」「リハビリテーション病院」など専門的に分かれています（当院は急性期病院です）。



昔は、患者さまが病気や怪我を治療する際には、完治するまで同じ病院で通院・入院をされることが多くありました。しかし、医療の高度化、専門化に伴い、専用の医療機器や専門的な診療機能が必要になったことや、診療報酬の問題などから、一つの病院ですべてを対応することが難しくなってきました。現在では、救命救急や入院治療、大きな手術等は、当院のような急性期医療を提供する病院で治療を受けられ、その後、症状が安定した段階で、別の病院やお近くの診療所で治療を継続される、という形をご案内しております。なお、これは国の医療政策の一環です（\*）。

ご紹介した医療機関でスムーズに医療が継続できるよう、当院での診療の状況を書面に（レントゲン等の写真はCDでご用意）してお渡し致します。なお、ご不安な点などは担当医とよくご相談いただければ幸いです。

また、地域の開業医の先生の情報は、正面玄関の総合案内横にある情報コーナーに資料がありますのでご参照下さい。地域医療連携係でもご案内をさせていただきますので、お気軽にお声をおかけ下さい。

それでは、どうぞお大事になさって下さい。

### 【院内に掲示しているポスター】



#### お願い

当院は、地域医療支援病院に承認されており、急性期の患者さまを診療させていただくための病院です。

診療所と病院それぞれの役割分担を果たすため、症状の落ち着いた患者さまは、地域の医療機関をご紹介致しますので、ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



\*地域医療支援病院とは……

日常の健康管理を行う診療所（かかりつけ医）からの紹介により、症状が悪化した患者さまを迅速かつ円滑に受け入れし、救急医療、高度医療の提供を行う病院です。また、診療所との密接な連携により、病状が落ち着いた患者さまを診療所にお戻しし、地域医療の充実を図る病院です。



平成23年8月1日

病院長

(\*)さらに、救急入院された場合でも症状が落ち着いた段階で他の急性期病院に転院する、といったことも推奨される方向で検討がなされています。

## 総合防災訓練を実施しました



11月17日(木)に総合防災訓練を実施いたしました。

今回は夜間に地震が発生し、その後、4階北病棟より出火したという想定で行いました。内容は、災害対策本部の設置と自衛消防隊による初期消火訓練、患者さまの避難誘導訓練やエアストレッチャーによる搬送訓練等です。



旭消防署のご協力もいただき、消防隊のはしご車による救助活動や放水活動なども実施され、訓練終了後には煙体験や水消火器を使用した消火訓練と起震車による震度体験も行われました。

当日来院の皆さまには、立入禁止区域を設けたこと等により、ご不便をおかけして申し訳ございませんでした。おかげさまで、無事訓練を終えることができました。ご協力ありがとうございました。

## 市民公開講座を開催しました

10月1日(土)、旭区サンハートで市民公開講座「B型、C型肝炎 ウイルス肝炎を知る」を開催しました。消化器内科の石井主任医長、聖マリアンナ医科大学の奥瀬准教授、北海道大学の髭先生他の講演がありました。

11月12日(土)は、同じく旭区サンハートで市民公開講座「関節リウマチの新しい診断と治療」を開催しました。リウマチ・膠原病内科の山前副部長と整形外科の川名医長、菊名



肝炎



リウマチ

記念病院の薬剤部廣瀬課長の講演がありました。

どちらの講演会でもご質問に講師が回答する時間を設定させていただきました。おかげさまで多くの方にご来場いただき、好評のうちに終了いたしました。

当院医師が講師を務める講演会等について、今後のスケジュールは次の通りです。どうぞお気軽にお越し下さい(「喘息教室」は、参加人数把握のため事前にご希望をお知らせ下さい)。詳細は、院内掲示や当院ホームページ等でご確認下さい。

### 〔当院医師が講師を務める講演会等について〕

内容	日時	場所	講師・案内役等	定員・申込等
市民公開講座 「脳卒中最前線」	12月23日 (金・祝) 14:00～	泉区民文化センター・ テアトルフォンテ(相 鉄いずみ野線いずみ 中央駅隣接ビル3階)	ばんどうクリニック 板東院長、 オカダ外科医院 岡田院長、 当院脳神経外科 中村医長ほ か	定員 350人 当日先着順
ぜんそく 喘息教室一端 息死ゼロを目 指してー	平成24年2 月25日(土) 13:30～	当院3階講堂	当院呼吸器内科 駒瀬部長ほ か	①当院呼吸器内科の 医師・看護師へ、または ②往復葉書で「西部病 院呼吸器内科外来」へ



発行：聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院  
いこいの森編集委員会

〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL : 045-366-1111(代) FAX : 045-366-6410